

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪公立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	サステナブルながん医療を実践できるがん薬物療法専門医・研究者養成コース (正規課程)						
対象職種・分野	医師						
修業年限(期間)	3(早期終了)～4年						
養成すべき人材像	造血器腫瘍から主な固形がんまで腫瘍医療に必要な高い能力とトータルケアに必要な幅広い知識を身に付け、多職種の専門医療人と連携し標準治療・緩和治療・終末期医療まで集学的な治療・ケアにシームレスに対応できる腫瘍内科医を養成する。がんゲノム医療や免疫チェックポイント阻害薬を含む薬物療法に精通するがん薬物療法専門医を取得し、腫瘍循環器学や腫瘍腎臓病学等のがん関連学際領域に対応できる能力や医療ビッグデータを扱いがん予防医療を推進できる能力を有する医師を養成する。						
修了要件・履修方法	必修科目および選択科目で計30単位以上を履修し、博士論文審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt; 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、CS演習(1単位)、SP演習(1単位)、がん医療学実習(6単位)、発表表現演習(2単位)、研究指導(8単位)、研究公正B(1単位)、医学研究概論(1単位)、医学研究基本演習(1単位)、医学研究セミナー(1単位)</p> <p>&lt;選択科目&gt; 腫瘍遺伝学外科実習(4単位)、他専門科目</p>						
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	臓器横断的ながん薬物療法の演習・実習に加え、発症頻度は低い致死率が高い重篤な免疫療法の副作用(irAE)の対応に大学間および拠点周辺医療機関連携により効率的な症例経験により免疫チェックポイント阻害薬等の免疫療法を担う人材育成を行う。検診データを用いて先端予防医学講座、医療統計学講座と連携しビッグデータに基づく効率的かつ個別化されたがん予防医療を推進できる人材育成を行う。E-learningや病棟及び外来における演習及び実習を多職種の専門医療人や大学間と共同で行うことで多様性のある教育を行う。						
指導体制	がん薬物療法専門医、がん治療認定医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師からなる多職種が協働して行う。						
修了者の進路 キャリアパス	がん薬物療法専門医、がん治療認定医を取得する。大学病院やがんセンターで新たな治療法の開発や海外留学による研究で新たな個別化医療の発展を担う。地域中核拠点病院で地域に定着してがんゲノム医療や免疫チェックポイント阻害薬を含む薬物療法から痛みの治療・ケアなど緩和医療等、多職種連携による集学的な医療の発展を担う。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数 設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定。						